

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地歴公民 科目 世界史演習

教科： 地歴公民 科目： 世界史演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 B 組～ D 組

使用教科書：（ 山川 詳説世界史探究 ）

教科 地歴公民 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章文明の成立と古代文明の特質～第4章西アジア世界と地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】 ポリスの特徴およびそこでの人々の生活や民主政発達の経緯および現代の民主主義との相違点などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ギリシア文明が近代ヨーロッパにもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 文明の誕生～キリスト教の成立と発展 ・教材 教科書 資料集 プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいたったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのかを理解しているかなど。 【思考・判断・表現】 当時の地中海世界の状況をふまえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現しているかなど。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしているかなど。	○	○	○	8
第5章イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成～第8章東アジア世界の展開とモンゴル帝国 【知識及び技能】 中世の西ヨーロッパにおいてローマ＝カトリック教会が普遍的な権威を持つにいたった背景を理解するなど。 【思考力、判断力、表現力等】 十字軍の遠征の経緯を理解し、それが社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現するなど。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 アラブの大征服とイスラーム政権の成立～モンゴルの大帝国 ・教材 教科書 資料集 プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について、従来との比較をふまえて理解しているかなど。 【思考・判断・表現】 中世都市の景観を示す図像資料や当時の交通路を示す地図をもとに、十字軍が西ヨーロッパに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現しているかなど。 【主体的に学習に取り組む態度】 中世の西ヨーロッパについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしているかなど。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
第9章大交易・大交流の時代 【知識及び技能】 モンゴル帝国による支配が東アジアにおよぼした影響について理解するなど。 【思考力、判断力、表現力等】 ティムール朝がモンゴル帝国から受け継いだものを多面的・多角的に考察し表現するなど。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 アジア交易世界の興隆 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 ・教材 教科書 資料集 プリント 問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。 【思考・判断・表現】 ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラス＝カサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8

1
学期

